



令和3年11月26日

港湾局産業港湾課

**第21回北東アジア港湾局長会議および
第21回北東アジア港湾シンポジウムが開催されました
～日中韓の港湾関係者が港湾の発展のために意見交換を行いました～**

令和3年11月24日(水)に、「第21回北東アジア港湾局長会議」および「第21回北東アジア港湾シンポジウム」がオンライン形式にて開催され、日中韓三国間の港湾の発展のために、緊密な連携を促進することが重要との認識で一致しました。

1. 第21回北東アジア港湾局長会議（別紙1）

北東アジア港湾局長会議は、2000年より日本、中国、韓国の三国の港湾の発展のため港湾行政全般にわたり広範に意見交換を行うものであり、今回21回目の会議がオンラインで開催されました。日本からは遠藤仁彦大臣官房技術参事官を団長として参加しました。

会議では、各国の団長より北東アジアの海上ロジスティクスサプライチェーンの安定性と円滑性の確保に関する各国の取組についての報告があり、北東アジアの強靱な海上サプライチェーンの構築と日中韓三国間の港湾の発展のために、緊密な連携を促進することが重要との認識で一致しました。

また、2022年度を初年度として実施される共同研究について提案があり、了承されるとともに、次回の第22回北東アジア港湾局長会議の開催時期、開催場所について意見交換が行われました。

2. 第21回北東アジア港湾シンポジウム（別紙2）

北東アジア港湾シンポジウムは、日中韓3国の港湾の課題に関する国民の理解と友好の促進を目的として開催されており、今年度は、「港湾におけるデジタルトランスフォーメーション」をテーマに3国の専門家から発表があり、その後視聴者との間で熱心な質疑応答が行われました。なお、日中韓の官民の港湾関係者約100名が視聴しました。

【問い合わせ先】 港湾局産業港湾課国際企画室 惟住、室賀
(代表)03-5253-8111 (直通)03-5253-8679 (内線)46469、46466 (FAX)03-5253-1651

第21回北東アジア港湾局長会議

(1) 日程等： 令和3年11月24日(水)、オンライン形式

(2) 各国出席者：

日本：遠藤仁彦 国土交通省大臣官房技術参事官他

中国：李天碧 交通运输部安全総監兼水運局長他

韓国：徐政鎬 海洋水産部釜山港建設事務所長他

(3) 結果概要

(ア) 各国団長による報告タイトル

日本：Ensuring Stability and Smoothness in the Maritime Logistics Supply Chain in Northeast Asia

中国：The Development of Ports in China and the Measures of Ensuring Stability and Smoothness in the Maritime Logistics Supply Chain

韓国：Issues and Responses of Shipping and Port Industries in Korea

(イ) 新規共同研究

以下の3テーマの共同研究を、2022年度より実施することに合意しました。

- ・北東アジアにおけるウィズコロナ、アフターコロナにおけるクルーズ振興に関する連携(日本提案)
- ・北東アジアにおける港湾の情報化の連携(中国提案)
- ・北東アジアにおけるカーボンニュートラルポート政策の比較(韓国提案)

(ウ) 第22回北東アジア港湾局長会議について

次回開催時期、開催場所について意見交換を行いました。



遠藤大臣官房技術参事官挨拶



会議の様子

第21回北東アジア港湾シンポジウム

(1) 日程等： 令和3年11月24日(水)、オンライン形式

(2) 視聴者数：100名(日本30名、中国30名、韓国40名)

(3) プログラム

・開会挨拶

日本：須野原 豊 日本港湾協会会長

中国：顧 金山 中国港湾協会会長

韓国：尹 柄求 韓国港湾協会会長

・シンポジウム

発表者及び発表タイトル

日本

・柴崎 隆一 東京大学大学院工学系研究科インテリジェント工学研究センター准教授

「Logistics Analysis using Maritime Big Data」

・丹生 清輝 国土技術政策総合研究所港湾研究部長

「DX and Ports in Japan -Cyber Ports and i-Construction-」

中国

・李 玉彬 招商局港口控股有限公司副総経理

「Port Digital and Intelligent Transformation by China Merchants port」

・焦 広軍 天津港(集団)有限公司総裁

「Seize New Opportunities of Digital Transformation Development and Write a New Chapter of Port High-Quality Development」

韓国

・裴 惠淋 釜山大学産業工学科教授

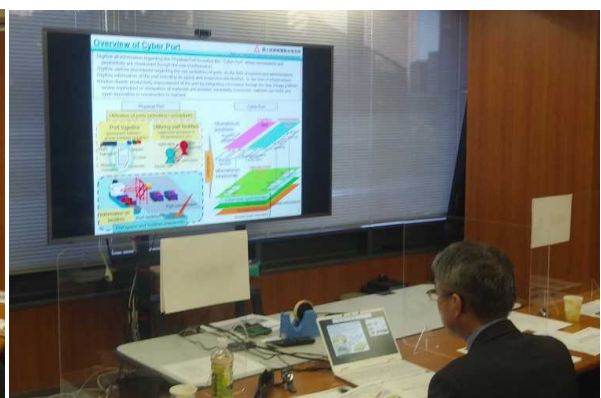
「Data Driven Smart Port」

・朴 慶哲 釜山港湾公社 ICT課課長

「The logistics Platform (Chain Portal) in Busan Port based on blockchain」



発表される柴崎准教授



発表される丹生部長